

平成 25 年 9 月 17 日

学校施設のエネルギー使用実態等調査の結果について ～ 学校施設の環境に関する基礎的調査研究報告書 ～

国立教育政策研究所文教施設研究センターでは、「学校施設の環境に関する基礎的調査研究（主査：小峯裕己 千葉工業大学工学部建築都市環境学科教授）」を実施しており、環境に配慮した改修整備を行う学校施設における改修前後のエネルギー使用実態等調査（平成 24～27 年度）を行うこととしています。

このたび、平成 24 年度に実施した改修前における学校施設のエネルギー使用実態等の調査結果を取りまとめましたので公表します。

1. 趣旨・経緯

- 近年、温室効果ガス排出量の削減が全世界的な課題となっており、学校施設においても環境負荷低減のための取り組みが求められています。学校施設は、次世代を担う子供たちが一日の大半を過ごす学習や生活の場であることから、環境対策の推進に当たっては、適切な教室環境の確保と省エネルギー・省資源対策の両面から取り組む必要があります。

- 国立教育政策研究所文教施設研究センターでは、文部科学省が進める平成 24 年度スーパーエコスクール実証事業(※)に採択された学校において、環境に配慮した改修整備を行う学校施設における改修前後の建物仕様、運用実態及びエネルギー使用量等の継続した調査を行い、その相関性を分析把握することにより、今後の学校施設整備に係る文教施設施策に資することを目的として調査研究を行っているところです。

※ スーパーエコスクール実証事業については、文部科学省のホームページに概要を掲載しています。

(アドレス http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/ecoschool/detail/1319684.htm)

2. 報告書の概要

- 研究成果として、学校全体のエネルギー使用量に対し、学校が運用されていない時間帯（夜間）にも消費する一定のベース電力によるエネルギー使用量の占める割合が、2～3割強あることが明らかになりました。本報告書では、そのベース電力量の削減方法をはじめ照明や暖冷房エネルギーの削減方法などゼロエネルギー化に向けたテーマ別の取組方法を提案しています。(別添「調査研究の概要」参照)

※ 本報告書は、当研究所のホームページに全文を掲載しています。

(アドレス <http://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/energyuse2012.pdf>)

3. 今後の予定

- 国立教育政策研究所文教施設研究センターでは、引続き文部科学省が進めるスーパーエコスクール実証事業に採択された学校の運用実態及びエネルギー使用実態等を中心に調査を実施し、研究成果を取りまとめてまいります。

(お問い合わせ)

国立教育政策研究所文教施設研究センター

センター長：齋藤福栄、総括研究官：西 博文、専門調査員：幅崎美行

電話：03-6733-6994

〔広報担当〕企画普及室 普及・国際係長 飯塚昭義

電話：03-6733-6812 (直通)